

# Debian 勉強会資料

上川 純一

2005 年 10 月 29 日

- 55000 以上の現在アクティブなバグ報告
- 231000 のアーカイブされたバグ報告
- 毎週 1000 以上の新規のバグ報告
- リアルタイムでバグ報告をウェブページにどんどん反映

- インタフェース： 開発者がメールで操作できるようになっており，誰でもウェブで閲覧できるようになっている．
- パッケージベース： バグ報告をパッケージ別に高速に管理する必要がある
- スケーラビリティ： 大量のバグ報告に対応できる必要がある
- 即時性： 現在のバグの状態をすぐに報告してくれる必要があり，バグの状態が変更されたらすぐに反映される必要がある
- 安定性： 継続して動作する必要がある．新規の機能がどんどん追加されたとしても．
- 公開： 議論の内容に Debian コミュニティー全体として参加できるように，永続的な公開記録として保存される必要がある．

- /org/bugs.debian.org/spool
  - incoming/
  - db-h/
  - archive/
  - index.db – index.db.realtime へのシンボリックリンク
  - index.archive – index.archive.realtime へのシンボリックリンク
  - nextnumber

- T receive によってうけとられた
- S SPAM 確認待ち
- R SPAM 確認中
- I SPAM チェック通った
- G service か process スクリプトを通った
- P process 中

- B: 通常のバグ報告 . submit@ 1234@
- M: -maintonly メーリングリストに投げない
- Q: BTS に登録しない . -quiet
- F: アップストリームにフォワード -forwarded
- D: バグ終了 -done
- U: サブミッターにメール -submitter
- R: ユーザのリクエスト用インタフェース request@
- C: デベロッパーの制御用インタフェース control@

## Status

- バグ報告者のメールアドレス
- 時間 (秒)
- サブジェクト
- 元のメールのメッセージ ID
- バグがアサインされているパッケージ
- タグ
- close した人のメールアドレス
- 上流のメールアドレスか URL(forward されたばあい)
- マージされているバグ番号
- severity

## Summary

- Format-Version: このファイル形式のバージョン
- Submitter: バグ報告者のメールアドレス
- Date: 時間 (秒)
- Subject: サブジェクト
- Message-ID: 元のメールのメッセージ ID
- Package: バグがアサインされているパッケージ
- Tags: タグ
- Done: close した人のメールアドレス
- Forwarded-To: 上流のメールアドレスか URL(forward されたばあい)
- Merged-With: マージされているバグ番号
- Severity: severity
- Owner: バグの所有者



- kill-init: まだ一行も処理していません
- incoming-recv: 07: あとに go がくる , Received:行
- autocheck: 01: X-Debian-Bugs-...: までの無視されている行 , autowait が次に来る
- html: 06: 生で表示すべき HTML
- recips: 02: メールの受取人 , 04 で分割されている
- go: 05: メールの文書
- go-nox: X: メールの文書 , X ではじまる行
- kill-end: 03: メッセージの終り .
- autowait: go-nox があとにくる , 空行まで無視されるその他の情報 .

- パッケージ
- バグ番号
- 時間
- ステータス
- メールアドレス
- severity
- 例： pbuilder 317998 1121196782 open [Junichi Uekawa  
jdancer@netfort.gr.jp] normal

設定ファイルは全て/etc/debugs にあります .

## メールの処理部分

- errorlib: ライブラリ
- receive: MTA からメールを受信する
- spamscan: 受信メールを SPAM チェックする
- processall: process と service にメールを分配する
- process: バグメールを処理する
- service: control@ と report@ メールを処理
- expire: close されてから 28 日過ぎたバグをエキスパイア処理する
- rebuild: index ファイルをリビルド
- 15 分に一回 cron で動作

## ウェブインタフェース

- bugreport.cgi: バグレポートを一つ表示
- pkgreport.cgi: パッケージやサブミッタなどでサマリを作成する
- pkgindex.cgi: パッケージや severity に対して数を表示
- common.pl: ライブラリとして利用

- ソースは CVS
- merkel.debian.org の /org/bugs.debian.org に複製がある

- close バグ番号 バージョン
- reassign バグ番号 パッケージ バージョン
- found バグ番号 バージョン
- 'Source-Version: バグ番号' タグが追加
- `http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?pkg=cowdancer&version=0.4` と `http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?pkg=cowdancer&version=0.5`
- Summary ファイルにも , Found-In: cowdancer/0.4, Fixed-In: cowdancer/0.5

- user aj@azure.humbug.org.au
- usertag 18733 + good-reasons-to-run-for-dpl
- usertag 18733 + still-cant-believe-it-finally-got-fixed
- usertag 62529 + your-days-are-numbered
- `http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?pkg=dllisp;users=dancer@debian.org`
- `http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?tag=ignore-for-now;users=dancer@debian.org`



- バグ番号-subscribe@bugs.debian.org にメールを出す

- block 保留中のバグ番号 by 原因のバグ番号
- unblock 保留中のバグ番号 by 原因のバグ番号
- `http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?maint=dancer@debian.org&maxdays=90`
- `http://bugs.debian.org/cgi-bin/pkgreport.cgi?maint=dancer@debian.org&mindays=90`